

# 小鹿野町 議会だより

第72号

令和5年11月1日発行

発行/小鹿野町議会  
編集/議会だより編集委員会



## 木育が育む豊かなこころ

小鹿野町議会  
HPはこちら→



傍聴お待ちしております

### Contents

9月定例会	②～⑥
審議結果一覧	⑦
一般質問	⑧～⑩

9月定例会では条例の一部改正や令和4年度各会計決算を審議しました。

# 第4回9月定例会

会期9月12日～14日

本定例会では、令和4年度一般会計等の決算審査をはじめ、町長提出議案が15件、請願1件が上程されました。慎重審議のうえ、請願1件を継続調査、それ以外の全ての議案を可決しました。

## 専決処分の承認

### 令和5年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルス感染者の受け入れ体制整備のため、パーテーション等の消耗備品、陰圧装置導入のための建設改良費1267万2千円を増額するものです。

## 条例改正

### 小鹿野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

人事院規則が改正されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症に係る防疫作業手当の特例を廃止するものです。

### 小鹿野町印鑑条例の一部を改正する条例

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、スマートフォンを利用し、コンビニエンスストアで印鑑

証明書の発行ができるようにするものです。

## 補正予算

### 令和5年度小鹿野町一般会計補正予算（第3号）

主なものとしては、国庫支出金を財源に新型コロナウイルス感染症のワクチン個別接種を一定数実施する診療所に対して、協力金を支給するための経費や、県支出金を財源に、物価高騰の影響を受けている私立保育園に対して、補助金を交付するための経費を措置しました。

その結果、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2435万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億4209万8000円とするものです。

## その他

### 工事請負契約の締結について

旧倉尾小学校校舎・プール解体工事について、守屋八潮建設株式会社と4499万円で請負契約を行いました。

## 【討論】（要約）

### 【原案に反対】

10番 岩田 和幸

この解体する建物は、役場の職員が管理を怠った事が原因です。それで傷

んだから壊しますと言ったらどれでも簡単に壊せることになりましたね。私としては、以上の理由で賛成することはできません。

### 【原案に賛成】

12番 強矢 好光

この議案は締結についてですから、工事の契約内容や金額、請負業者について何か問題があるかの議案だと思っ

私はこの契約に対して問題はないと思いますので、賛成します。

### 【原案に賛成】

8番 皆本 富男

現在の旧倉尾小学校、そしてプールを維持管理していくのは大変厳しい状況にあると思います。今後、小学校の統廃合や空き校舎等の対応等も進めなくてはなりません。この旧倉尾小学校の解体、そしてプールの廃棄はやむを得ないのでないかと思っておりますので、賛成します。



旧倉尾小学校プール



旧倉尾小学校校舎



## 工事請負変更契約の締結について

小鹿野小学校校庭改修工事について、試掘調査をしたところ、一部箇所が多量の湧水を確認され、暗渠排水孔を追加する必要が生じたことから、請負金額の変更が必要となったため変更契約を締結するものです。

請負金額を当初の6133万6000円から、10万6700円追加し、6144万2700円とするものです。

## 人事案件

### 小鹿野町教育委員会教育長の任命について

次の者の任命を同意しました。

武藤 彰男 氏

### 小鹿野町教育委員会委員の任命について

次の者の任命を同意しました。

八宮 悟 氏

## 一般会計 特別会計決算

一般会計の歳入は87億2270万2千円で前年度比5億6387万7千円(6.9%)の増、歳出が81億445万9千円で前年度比5億9774万9千円(8.0%)の増となり、実質収支額は5億4962万4千円の黒字決算となりました。

また、特別会計はすべての会計で黒字決算となりました。

## ●主な質疑●

### 災害復旧事業費（建設課）

決算額 3億967万1千円

Q 落葉松の災害復旧工事の決算額について。

A この金額について、町道704号線の災害復旧工事の最終的な金額になります。全体最終契約額は3億5967万1千円で、5000万円は令和3年度分の前払い金としてお支払いしておりますので、その残がこの3億967万1千円になります。

### 広域市町村圏組合負担金（上水道費）

決算額 1億5299万8千円

Q 水道事業出資金1億1094万4千円について、町が起債をして広域水道に納めた金額でよいのか、その内訳について。

A 簡易水道債の元金の出資金が457万1千円、災害復旧事業債の元金出資金が357万3千円、構成市町村の出資金ということで1億280万円ございます。この1億280万円を町が借り入れをしまして広域の方の出資金ということになっております。以上の3つを足すと1億1094万4千円出資したということになります。

## 【討論】（要約）

### 【原案に反対】 9番 出浦 正夫

新庁舎としては、私は非常に立派な建物ができたといいふうに思います。けれども元々この役場庁舎の話が始まったときに、私は場所や広さの問題、再利用できる建物があればそれを利用して、浮いたお金は社会保障などに使う方がいいと申し上げてきました。また、竣工式が行われた際に、来賓警備の関係で駐車場の方に仕切りができていて、見学に来られた一般市民はその仕切りの中には入れませんでした。やっぱり祝うなら町民全体で祝うことが出来るような庁舎・竣工式をするべきだったと思います。

続いて水道問題です。今、広域水道は大規模工事を次々にやっています。もうじきに水道料金の値上げの話も広域では始まるだろうというふうに思っています。埼玉県で一番高い水道料金を払っている。この町民の思い、非常につらいものがあるだろうと考えております。次に、国保の広域化が始まってから数年が経ちました。歴代の町長は法定外繰り入れを行い、国保税の値上げをさせないようにして参りましたが、県の方針により、来年度の町の法定外繰り入れは0になる計画です。本当に苦

しい生活をされている町民が大勢いる中で、そういった人を支える町政・財政運営が必要だと私は考えます。そういった観点から、この決算の認定については反対します。

【原案に賛成】 8番 皆本 富男

新型コロナウイルス感染症が発症してから、まもなく3年余が経ちます。しかしながら、町長以下職員が一丸となりこの課題に取り組んでいただき、それに準じた対応等は出来たと思いません。まずそれが、第一と思います。

そして、新庁舎完成に向けての取組み、この事業におきましては、小鹿野町の歴史に残る改革、そして素晴らしい事業だと私は自慢をしております。

そしてもう一点は町道704号線の災害復旧工事について、増額という大変厳しい事業の推進でございましたけれども、災害における事業の増額はあってもやむを得ない。私はこのように感じております。今の小鹿野町民に実際として不便をかけないように結果として残せた。これがまず第一ではないでしょうか。

私は、この決算については堅実な財政、町政運営が出来たと感じておりますので賛成します。

【原案に反対】 10番 岩田 和幸

先ほど私が質問した落葉松峠の町道704号線の災害復旧の事でもそうですが、色々な点において基本的なことを煮詰めていない。

もう一つが、新庁舎の建設について。当初、見積・積算から内壁が落ちていた等で追加契約というのがありました。私は住民の代表者、代弁者として、追加工事がない場合、請負をした以上は、契約金額でやるべきであったと思いません。

新庁舎については、確かに新しいものはいいますが、重要なのは機能を十分に果たせるものが出来たかどうかだと思います。

先ほど三田川中学校使用料が入ったという話がありました。今後、空き校舎の活用について維持管理の経費と収入とのことも考えないといけません。旧両神中学校の活用について、貸出し等の活用方法を検討するべきだと思います。建てたものはいかに使うか。募集もせず、旧倉尾小学校解体の様になってしまつては困ります。工事等について非常に疑問があるため、令和4年度決算の認定をすることは出来ませんので反対します。

【原案に賛成】 4番 笠原 義行

本決算について、不安定なマーケットや、円安に伴いエネルギー価格の高騰や物価高など、町民への直接の影響が避けられない状況ではございましたが、全体的に町民に寄り添った運営が出来たのではないかと評価いたします。工事等の増額も見受けられましたが、総合振興計画を始め、各事業計画等に基づき、正しく予算執行され、決算書等についても、特段問題はないものと思理解いたしました。

意見書にもあるとおり、今後ますます人口減少が進み財政的にも厳しくなる中、職員1人ひとりが各事業の目的や、その事業が町民にどのように影響するのかを充分理解した上で、これまでに以上に町民に寄り添って職務に当たっていただく事をご期待申し上げます。

最後に、毎回申し上げておりますが、次代を担う小鹿野町の宝、すなわち子どもたちへのさらなる支援等をお願いするとともに、未来を見据えた、今までに無いような少子化対策等も考えていただき、勇気を持って積極果敢に挑戦いただきますよう強くお願い申し上げます。本議案に対する賛成討論とさせていただきます。



## 事業会計決算

### 病院事業

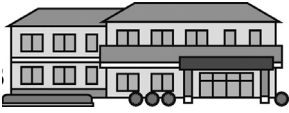
医業収益は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、10億5046万9851円で、前年度比20万6962円と若干の増となりました。

前年度に比べて収益の減少、事業費用の増加という結果になり、純利益は減少したものの、収益的収支は4613万6353円の黒字決算となりました。

### 国民宿舎事業

コロナ禍での行動制限が徐々に緩和され、国や県による旅行・宿泊支援事業の後押しもあり、宿泊利用者は前年度比6751人増の2万2515人となりました。

消費税抜きでの総事業収益は2億4597万9千円で、前年度と比べ5715万2千円(30.3%)増加しましたが、ウクライナ情勢の長期化や円安等の影響による物価の高騰を受け、純利益は591万5千円の黒字決算となりました。



## 請願

「建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める国への意見書」提出を求める請願書

請願者 建設埼玉秩父寄居地区本部

執行委員長 小澤 幸男

紹介議員 高根 保生

本請願は、総務常任委員会に付託となり、閉会中の継続調査となりました。



9月 定例会の様子

## 議会全員協議会

7月21日開催

出席者 議員8名  
今井議員欠席

高橋(耕)議員欠席  
猪野議員欠席

岩田議員途中退席

①議会開催の告知について

②岩田議員の活動報告の事実確認について

8月28日開催

出席者 議員11名  
岩田議員途中退席

### 町からの報告事項

①コロナ病床の確保について

②歳入歳出決算書「財産に関する調査書」における修正について

③損害賠償請求事件に関する経過報告について

### その他

・岩田議員の活動報告にある記載について

9月8日開催

出席者 議員10名  
岩田議員欠席

①岩田議員の活動報告について  
(令和5年7月発行 第78号・第79号)

次ページへつづく

## ○岩田議員の活動報告に記載されている内容の事実確認について

岩田議員の活動報告(令和5年7月発行第78号第79号)に記載されている内容について、小鹿野町議会では議会全員協議会を開催し、その事実確認をおこないました。結果を下記のとおりご報告申し上げます。

町民のみなさまへ

小鹿野町議会議長

### 岩田議員の活動報告(令和5年7月発行第78号第79号)について

小鹿野町議会は住民の代表者である議員をもって構成される議事機関として、慎重、公正であり、品位を重んじ、秩序を保持する観点から、岩田和幸議員の活動報告に「クビにしてやる」などの恫喝、パワハラ行為が議会事務局長に対してあった旨の記載があったことから、議会として岩田和幸議員を除くすべての議員に事実確認をおこないました。

その結果、議会事務局長に対しての恫喝等の行為は確認出来ませんでしたので、岩田和幸議員に事実確認をするために全員協議会も開催しましたが、度々議長に許可なく途中退席をされたため、岩田和幸議員本人から事実を確認することは出来ませんでした。

そこで、岩田和幸議員に対し、恫喝した議員の氏名を明らかにするよう期日を指定して質問状を送付いたしました但し回答はありませんでした。また、議会事務局長にも恫喝があったかの事実確認をしたところ、そのような事実は無かったことを確認しました。

議会では、岩田和幸議員の活動報告に書かれた内容の事実確認をすることは出来ませんでした。議会としては事実確認が出来ない情報を活動報告に記載することは、町民から信頼される議員がすべきことではないと考えます。よって、岩田和幸議員に対し、活動報告の事実確認が出来ない記載については削除または訂正をするよう指示するとともに、今後このようなことがないよう勧告し嚴重注意しました。





予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議案名	議員名										
	今井敏夫	高橋耕也	笠原義行	高橋謙治	高根保生	猪野武雄	皆本富男	出浦正夫	岩田和幸	加藤喜一	強矢好光
専決処分の承認を求めることについて（令和5年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和5年度小鹿野町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	—	○
工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和4年度小鹿野町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	●	●	—	○
令和4年度小鹿野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和4年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和4年度小鹿野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和4年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和4年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和4年度小鹿野町営国民宿舎事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
「建築物石綿含有建材事前調査・除去費用の国民への周知と国民負担軽減措置を求める国への意見書」提出を求める請願書	総務常任委員会に付託										

※ 加藤喜一議員は議長のため採決に加わっていません。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

町政に対する一般質問

一般質問一覧（質問順）

<p><b>岩田 和幸</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社地域商社おがのについて</li> <li>旧長若中学校について</li> <li>ボルダリングとクライミングについて</li> <li>移住について</li> </ul>	<p><b>今井 敏夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地の現状について</li> <li>町営住宅・空き家の現状について</li> <li>少子化対策について</li> </ul>
<p><b>猪野 武雄</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町の主要施策等に関して</li> <li>環境衛生の維持に関して</li> <li>幹線道路の整備に関して</li> <li>教育に関して</li> <li>農林業の振興に関して</li> </ul>	<p><b>出浦 正夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧長若中学校校庭を住宅用地として売却する計画について</li> <li>国民健康保険事業について</li> <li>町職員の労働条件改善について</li> <li>マイナンバーカードの総点検について</li> <li>核兵器廃絶・平和な町づくりについて</li> <li>清滝小屋再開に向けて</li> </ul>
<p><b>笠原 義行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興について</li> <li>性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性について</li> <li>ご当地キャラクターについて</li> <li>学校給食について</li> </ul>	<p><b>高橋 謙治</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業用水について</li> <li>両神庁舎について</li> <li>スポーツ振興について</li> <li>道路交通について</li> </ul>

○8～10ページに各議員から提出された一般質問の要約を記載します。

# 町政に対する一般質問

9月  
定例会



全ての子ども達に寄り添い  
町の持続度を確実なものに！

猪野 武雄 議員

**質** 本町の学童に係る不登校児（小学1名、中学7名）対策では、まず、本人が抱く罪悪感や追い詰められた状況を理解し、

学校や家庭以外にも安心できる居場所の提供が必要と考えます。また、発達障害児では、特化した調査を行い早期発見・支援が肝要です。これを怠ると将来に渡り本人が生きづらさを引きずることにもなりますが、町の考えを伺います。

**答** 不登校になった子には、個別指導などの支援と共に長若集学校内の「おがの輝きスクール」を居場所としても提供していきたいと考えております。

発達障害児対策では、正確な把握に努めて支援

に結び付けます。

**質** 町の主要な観光ポイントである栗尾バス停から岩殿沢31番札所間において、栗尾は仮設トイレのままであり、岩殿沢「たちね観音公衆トイレ」は非水洗です。ハイカー等を快く迎えるおもしろトイレには程遠い状況です。そこで、栗尾の仮設トイレだけでも優先整備できないか伺います。

**答** 改修等の優先順位を総合的に勘案し検討を進めてまいります。

**質** ①長尾根バイパスと②大滝トンネル及び③荒川賛川地内の県道二期工事の進捗状況を伺います。

**答** ①は道路の中心線の地元了解が得られ、長尾根バイパス一般部及びトン



## 次代へ歩む 新小鹿野町の創造

笠原 義行 議員

**質** 観光振興について

グリア園や尾ノ内渓谷をはじめ観光地運営には地元住民のご協力が必要不可欠であります。運営に携わる方々も高齢化が進んでおりますが、さらに我が町の魅力を高めた

ネル部の詳細設計等を予定。②は9月1日現在、延長約2キロのうち8割近くを順調に掘削中。③は来年度まで盛土に取組む予定とのことです。

**質** （仮称）小鹿野千束バイパスは、令和6年度中にも境界立合いや用地測量が見込まれるので、県に対し用地取得等が円滑に進むよう町として鋭意協力すべきですが、対応姿勢を伺います。

**答** 既に町から県に対し協力を伝えており、所要の体制を整えます。

いと精力的に活動されている方々も多くいらつしやいます。しかしながらそのような新しいアイデア等を実現するために町の支援や公園整備等の事業化が不可欠ではないかと感じます。5年、10年先を考えたとき、町として今後さらなる観光振興等考えていくべきと感じますが、ご所見をお伺いいたします。

**答** グリア園や尾ノ内渓谷等は、地域住民の方々が中心となり十数年間継続事業として実施いただき、ここまで発展し、町を代表する観光地になりました。どこの団体も高齢化が進み、数年後には今まで通りの事業運営が出来ない可能性があることや町内各種事業にかかわる新たな方々の存在も認識しております。今後、地

域の観光事業を継続して行くためには、後継者の育成がだいじであるとともに、国や県の補助制度も活用しながら、地域の方々と共に、新たなアイデアを実現できるように、町としても検討していきたいと考えます。また観光地の整備等については、中長期的に考え必要性などを精査しながら検討してまいります。

**質** 観光地をさらに魅力あるものにするためには現状の補助金等の支援だけではどうにもならないこともあると思います。町の事業としてしっかりと事業化して整備していくべきと感じますが町長の見解をお伺いいたします。

**答** 尾ノ内渓谷に関しては四季を通じて魅力ある場所になると感じています。一生懸命取り組んでいる地域住民のご意見を参考に、町として事業化も含め何ができるかを模索してまいります。





### 町の未来を見据えて

今井 敏夫 議員

**質** 町の周辺を見ると耕作放棄地が沢山見られるようになってきました。町では、この現状をどのように考えているか伺います。

**答** 町では、令和4年度の利用状況調査によりますと、約220haが遊休農地となっております。小規模兼業農家が多い本町では、将来の農地の引き受け手となる担い手が少ないことから、このまま推移すれば農地の荒廃が進み、集落環境の悪化を招くことになると思われます。町では、こうした荒廃農地の発生を防止する支援策として、国の制度を活用した中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を実施しております。他の施策として、小鹿野町明日の農業担い

手塾や地域おこし協力隊を活用し、若い世代の農業の担い手を育成しております。以上のような対策の他に、有害鳥獣防護柵等設置費補助金など活用し、耕作放棄地の減少に努めてまいります。

**質** 町の少子化対策について伺います。

**答** 「子どもは町の宝」として、妊娠期から新生児、乳児、幼児期、そして小中高校生に至るまでの間、幅広い子育て支援策を行っています。経済的支援、不妊・不育症検査、治療を受けている方への費用の一部助成、保険診療適用に限らず特定不妊治療に上限35万円の助成、子育て支援金として第一子第二子に5万円、第三子以降50万円の支給を行っています。さらに子ども

が一歳になる誕生日まで月1500円のおむつ券給付、子ども医療費の対象を18歳まで拡大、小学生には給食費の全額と教材費の一部補助、高校生のバス電車通学定期券

の一部補助など、国、県の施策に乗せした取り組みを実施しております。



### 核兵器廃絶・平和な町づくりを！

出浦 正夫 議員

**質** 核兵器廃絶・平和な町づくりについて伺います。

新庁舎建設に伴い「核兵器廃絶・平和都市宣言のまち」モニメントが撤去されたままとなっております。ロシアによる核使用の威嚇・北朝鮮による核の脅威のなかで、恒久的なモニメントの設置は重要です。あわせて、被爆青ガリの説明板設置も必要です。町長のお考えを伺います。

**答** 私は、核兵器のない平和な世界の実現は人類共

舎前に「核兵器廃絶・平和都市宣言のまち」の懸垂幕を設置するとともに、町ホームページに決議文を掲載し、平和都市宣言を行っている町であることについて周知を行っております。

**出浦議員**からご質問いただきました。恒久的なモニメントと被爆青ガリの説明板設置につきましては、私も大切な事であると感じております。また様々な方からもご要望をいただいておりますので、来年度予算編成に向け、設置場所や費用について前向きに検討してまいります。

**質** 被爆青ガリですが側にある樺の枝下になりそうなので対策について伺います。

**答** 現在の植樹場所は奥まった場所にあるので場所についてもさらに検討し、説明板についても分かり易いものを設置したいと思います。



ルールを守って利用を。

高橋 謙治 議員

質 小鹿野用水については、

毎年、下流地域等、場所により満足に水が届かない事が多々ありました。

老朽化も進んでおりまして、劣化状況にに応じて対応いただき、今年度、補修が完了しました。現在の配水状況を伺います。

答 配水状況については、

土地改良事業の完了に伴い、漏水修理も行われ、以前よりも多くの水量を流すことができております。水田の繁忙期には職員が見回り通水確保に努めております。下流地域等、場所により水が届かない事については、町の広報や取水箇所に張り紙・看板等を設置して「取水時間のお知らせ」や「かけ流し禁止」等の注意喚起を行っており、通水停止の防止に努めております。

質 本年も最下流地区では

満足に水が届かないことが多々ありました。稲作している方からも「水が満足に来ないなら栽培をやめたい」との声も聞かれています。

さらに拡大しそうな状況です。満足に水が使えるようにすることが肝要です。給水時間を守っても

らわなければ最後の下流地域には届かないわけですが、給水が終わったにも関わらず、そのまま給水を止めず、河川に流し放題になっている状況があります。普通にルールを守っていただけではないのですが、現在の状況では利用者の把握が重要だと思います。田畑などの農業用途以外でも使われているのではないかと考えられ、把握のために利用者名簿の作成が必要と

答 利用者の名簿があれば、

誰がどのように利用しているか、状況が分かりますので、水利調整員の皆さんの意見も伺い検討していきたいと思えます。

考えますが、町の考えを伺います。

■議長交際費の公開 令和5年7月～9月

7月7日	小鹿野町国際交流協会会費	3,000円
7月11日	両神農産物直売所組合懇親会	5,000円
7月12日	秩父地域三議員連盟交流会会費	2,000円
7月14日	2023原水爆禁止国民平和実行連協賛金	3,000円
8月15日	長瀬船玉まつり会費	3,000円
8月15日	第2回おがの花火大会	3,000円
8月28日	地方行政懇談会会費	6,000円
9月24日	倉尾地区スポーツ大会	3,000円
9月24日	ユースアイフェスティバル2023	3,000円
計		31,000円
令和5年度 支出合計		55,000円

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。

町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、12月上旬に小鹿野町役場で開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神振興会館（旧両神庁舎）のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



編集後記

猛暑日と日照り続きだった今年の夏も、漸く過ぎ去り、季節は一気に進み、朝晩は肌寒さを感じますが、スポーツや旅行には快適な季節になって参りました。

しかし国内では円安や戦争に伴う物価高と、主要産油国による生産調整に影響された、ガソリン価格の高止まりなど、冬の需要期を控え一日も早い安定低価格が望まれるところです。

さて、小鹿野町では秋の催し物が目白押しです。コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、行動制限の無い通常開催が四年ぶりに各地で行われます。これを機に、コロナ前の安定した社会の復活と小鹿野町の安寧を祈ります。

▼議会だより編集委員会

- 委員長 今井 敏夫
- 副委員長 高根 保生
- 委員 皆本 富男
- 出浦 正夫
- 加藤 喜一
- 笠原 義行